



上北だより

306号
平成28年1月8日
練馬区立上石神井北小学校
校長 市川 順康

「新年にあたり」

校長 市川 順康

新しい年を迎えるにあたり、皆様の弥栄（いやさか）を心からお祈り申し上げます。

初日の出をご覧になったでしょうか？最近では、日本全国の日出の様子がテレビ中継され、現地に行かなくても、富士山のご来光まで、身近に見ることができるようになりました。初日の出に願をかけるとう願いが叶うといいますが、今年もよい年でありませうようにと願わずにはいられません。

ところで、自然界には、直線できているものはありません。まっすぐに見える地平線、水平線さえ、実は、まっすぐではありません。そのためか、直線を生かした建造物は、人間の「まっすぐ」への大きなあこがれからではないかと思ひます。自然のものには、「まっすぐ」なものはないため、太古の昔から人間は、直線にあこがれたのではないのでしょうか。ピラミッド等はその代表です。

「まっすぐ」「直線」は、「平等に分ける」ことを可能にすると考えられます。世界地図を見ると、国境線がまっすぐな国も多くあります。国と国とが、国境線を直線で引いたとき、そこには人間の考えが色濃く反映されます。歴史的、地理的な背景で、国境線を直線で区切らなくてはならなかった国もありますが、日本は、島国で、陸続きの国境線はありません。県境も「まっすぐ」ではありません。そして国境も海に面しているのだから、日本人が、まっすぐな国境線をイメージすることは難しいことです。

一方、都会のビルは、人工的で、直線的なデザインのものが多いので、人間がそこで長時間過ごすとう、何か、息苦しさを感ずるのは、実は、自然から離れたものであるからと思ひます。必要以上の「まっすぐ」は、やはりストレスをもたらしてしまうのではないのでしょうか。そのためなのかどうか、昔から日本の建築物の中でも、曲線や球体を生かした建築物も多く、デザイン性やコストの問題もありますが、最近では近代建築の中にも多く取り入れられているように思ひます。

しかし、そんな場合でも、きちんと分けるため、また、正確に測るために「直線」「まっすぐ」は不可欠です。ただ、「まっすぐ」は、いい意味も、注意しなければならぬ意味も、両方含んでいると思ひます。いろいろな出来事に、柔軟に、多面的に、多角的に、俯瞰的に考えられること、想像力が豊かであること、枠の中だけでない、直線で区切れない、複雑な形状をもしっかりと把握できるバランス感をもっていること。相反することではありますが、両方をとらえることができる感覚が大事な時代になっていると思ひます。上北小の子供たちの学びも、まとめの時期になりました。今年度の学習活動の成果を、多面的に評価して、次の学年の準備をしっかりと行いませう。尚、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

1月の行事予定

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 8日（金）給食開始・5時間授業 | 22日（金）避難訓練 |
| 9日（土）もちつき大会<6年>3時間授業 | 25日（月）クラブ活動 子供相談週間開始 |
| 11日（月）成人の日 | 26日（火）社会科見学<5年>敬老館交流<3年> |
| 12日（火）発育測定<6年> | 29日（金）読書旬間終了 子供相談週間終了 |
| 13日（水）発育測定<5年> | 校内書き初め展終 5時間授業 |
| 14日（木）発育測定<4年>本の探検ラリー<3年> | |
| 15日（金）発育測定<3年> | |
| 本の探検ラリー<4年・みつば> | |
| 18日（月）発育測定<2年>委員会活動 | |
| 校内書き初め展・読書旬間開始 | |
| 19日（火）発育測定<1年> | |
| 連合図工展見学<みつば> | |

*連合図工展 16日（土）～21日（木）
（18日は休館日）

*連合書写展 23日（土）・24日（日）

※いずれも練馬区立美術館にて開催されます。